

3 産業経済

3-1 漁業

寿都町における漁業の歴史は古く、町史によると1600年代に豊富なニシンを背景に和人が集落を形成し、住み着いたことが町の始まりとされています。以来、寿都町は漁業を中心として発展してきました。200海里問題以降は沿岸漁業へ移行し、比較的穏やかな寿都湾の特性を活かしたつくり育てる漁業を展開し現在に至ります。近年は、海洋環境の変化や資源量の減少により漁獲量は減少傾向にありますが、安定した生産の見込める養殖漁業の拡充や漁獲物の高付加価値化・販路拡大により漁業生産力と漁業所得向上を図っております。

3-1-1 魚種別漁獲量推移【2023年 寿都町漁業協同組合調べ】

■魚種別漁獲量【t/千円】

【2023年1月～12月】

魚類			水産動物			貝類			海藻類		
区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額
ほっけ	1,730.4	124,740	なまこ	49.5	272,030	ほたて	11.3	5,783	採藻(生)	1.7	2,504
ぶり	151.8	30,261	たこ	39.0	27,586	かき	2.0	1,204	その他	0.1	30
さけ	123.5	84,957	うに	24.0	39,665	つぶ	0.7	312			
あんこう	63.9	33,897	いか	2.7	2,391	ほっき	0.3	217			
にしん	63.3	7,177	えび	1.2	1,898	あわび	0.1	150			
さば	48.6	1,556	かに	0.1	17						
かすべ	42.9	3,935									
その他	35.1	751									
たら	31.0	1,055									
かれい	28.4	2,346									
いわし	27.9	806									
ます	27.7	21,523									
そい	15.7	4,074									
ひらめ	14.3	8,314									
めばる	5.9	427									
あぶらこ	3.1	547									
かわはぎ	0.9	401									
ふぐ	0.2	18									
まぐろ	0.1	109									
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
小計	2,414.7	326,894	小計	116.5	343,587	小計	14.4	7,666	小計	1.8	2,534

水揚量の94%を魚類が占めており、中でもほっけの水揚が約71%を占めています。それに続いてさけ、ぶり、あんこうなどの水揚も目立ちました。水産動物では、なまこやたこ、貝類ではほたてをはじめ、寿かきの水揚が目立っています。

